

〔認知症対応型共同生活介護用〕

1. 調査報告概要表

作成日 平成 19年 9月 14日

【評価実施概要】

事業所番号	3171600236
法人名	医療法人社団 日翔会
事業所名	グループホームいちょうの木
所在地	鳥取県日野郡日野町根雨899-1 (電話) 0859-72-1866
評価機関名	有限会社 保健情報サービス
所在地	鳥取県米子市西福原2-1-1
訪問調査日	平成19年8月14日

【情報提供票より】 (19年 7月 23日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和 (平成) 14年 12月 16日
ユニット数	2 ユニット 利用定員数計 18 人
職員数	13 人 常勤 13人, 非常勤 1人, 常勤換算 13.81人

(2) 建物概要

建物構造	鉄骨 造り
	2 階建ての 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	39,000 円	その他の経費(月額)	実費 400 円
敷金	有 (円)	無	
保証金の有無 (入居一時金含む)	有 (円)	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり		600 円

(4) 利用者の概要 (7月 2日現在)

利用者人数	18 名	男性 3 名	女性 15 名
要介護1	2	要介護2	8
要介護3	2	要介護4	4
要介護5	2	要支援2	0
年齢	平均 82 歳	最低 66 歳	最高 90 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	日野病院、山本歯科クリニック
---------	----------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

“生まれた町、住み慣れた町、これからも笑顔で暮らす町だから・・・山村で暮らす地域の皆様との交流を大切に高齢者福祉と暮らしを笑顔でお手伝い”を理念に掲げ 震災の傷も癒えない平成14年に開設した。開設当初より 職員は理念に基づいたケアが実践できるように日々勉強会や自己評価を行ないサービスの質の向上に意欲的に取り組んでいる。平成19年4月から地域密着型のデイサービスも開設 気軽に遊びに行ける事業所として地域住民から頼られる存在となり地域と一体化しつつある。なによりも利用者の活気ある笑顔がうれしい。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況 (関連項目: 外部4)
	法人独自の自己評価・360度職員同士のケア評価を行ないサービスの質の向上に取り組んでいる。また管理者が交代したことで前年度の評価結果を意欲的に改善してきている。
重点項目①	今回の自己評価に対する取り組み状況 (関連項目: 外部4)
	運営者・管理者・職員は理念を一つに掲げ、法人独自の自己評価・360度職員同士のケア評価を日々の仕事の中で行ない常にサービスの質の向上に努力し取り組んでいる。
重点項目②	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み (関連項目: 外部4, 5, 6)
	運営推進会議を活かし 火災や災害時の対策を相談するなど有効に活用、地域福祉権利擁護事業の利用など困難事例の対応を役所と共に取り組んでいるが、地域住民はもっと地域に出てきて欲しいと積極的な意見が多く地域密着型事業所としての期待は大きい。認知症啓蒙活動を展開し地域の経済発展のためにも地域住民の中に 一層溶け込んでいかれることを期待する。
重点項目③	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映 (関連項目: 外部7, 8)
	「事故報告書」は必ず家族への報告と家族からの返事が記入されている。「ご家族連絡記録」は家族とのTEL内容や面会時に家族との会話が詳細に記録されケアプランや運営に反映されている。玄関の意見箱の傍には家族等の意見にホーム管理者の返事を書き加えて貼り付け、一般外部者にも表し運営やサービスに反映させている。
重点項目④	日常生活における地域との連携 (関連項目: 外部3)
	デイサービスを開設したことで気軽に近所の独居老人が遊びに来 お茶のみ交流、保育園・小学生が遊びに来る、地元高校生の学習の場として提供、施設で法話の会を開催、地域の行事や祭りには自治会の一員として率先して参加し行事の盛り上げ役を担っている。

2. 調 査 報 告 書

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	日翔会の理念「住み慣れた地域の中での暮らし、地域との関係性の継続を大事にしていこう」を基本に家庭的でゆったりとした生活利用者一人ひとりに寄り添いながら生活リズムを大切に安心できる暮らしの場を提供している。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	ケアの心得は施設内各所に掲載されている、職員は理念に基づいたケアが実践できるように日々勉強会や自己評価を行ない努力を続けている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	施設での法話の会を開催したり、近所の独居老人が遊びに来たり、小学生が遊びに来たり、自治会の一員として地域の行事や祭りに率先して参加している。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	法人独自の自己評価・360度職員同士のケア評価を行ないサービスの質の向上に取り組んでいる。また管理者が交代したことで意欲的に前年度の評価結果を改善してきている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	自施設の取組やサービスの実際を報告、火災や災害時の対策を相談するなど有効に活用している。	○	参加された地域住民よりもっと地域に出てきて欲しいと積極的な意見が多く 地域密着型施設としての期待は大きい。昨年取組が始まっていた認知症勉強会(キャラバン隊) 早期に再開し認知症啓蒙活動を展開される事を望みます。
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	毎月「いちょうの木便り」を拡大コピーし役所など主要な箇所に貼付・情報提供している。地域福祉権利擁護事業の利用など困難事例の対応を役所と共に取り組んでいる。	○	要介護状態となり利用が不便になった地元の理美容院へ役所から声かけを頼むなど地域の経済発展の為にも連携強化されることを望みます。
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	毎月、写真をつけて手紙を送りホームでの様子を伝えている。「事故報告書」には必ず家族への報告と家族からの返事が記入されている。「ご家族連絡記録」には家族とのTEL内容や面会時に家族との会話が詳細に記録されている。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	玄関に意見箱があり、家族等の意見にはホーム管理者の返事を書き加えて意見箱の傍に貼り付け、一般外部者にも表しサービスに反映させている。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	「なじみの職員でのケア」を基本としているが本年はやむをえず管理者・職員の交替があった。職員の異動は「たより」に掲載して家族にも報告、職員間の申し送りを十分に行ない利用者が不穏にならないよう配慮している。		


外部 評価	自己 評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内外での計画的な勉強会が熱心に行なわれ、職員同士が切磋琢磨してスキルアップを図っている。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	GH協会の相互研修、法人内のGH相互研修に参加し、事業所外の人意見やケア方法を持ち帰り、ミーティングの中で何が出来るか話し合い良いと思うことや出来る事から始めている。		
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	馴染みながらのサービス利用ができるようにとデイサービスを開始し、現在3名が通所して入居者と一緒に日中を過ごしている。デイサービス以外で入居希望の方はまず施設見学していただき、場合によってはデイサービスから始められるようにしている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	割烹着をつけて食事準備をしている方、食事が終われば片付け・食器洗いなどそれぞれが自然の形で得意分野で力を発揮し役割をこなしている場面が見うけられた。また朝のホーム内の掃除も一緒に行ない「掃除は楽しいよ、すっきりする」との声も聞かれた。		

外部 評価	自己 評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	寄り添うケアで日々の行動から思いや意向をくみ取っている。「言葉にしづらい思い」などはケアプランの見直しとは別に月1回のミーティングで話し合い、家族からの情報からも汲み取り検討している。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人の思いは日常生活の中から、家族の意見はアセスメントする時点で面会時やTELで要望を聞いている。利用者担当がモタリング、全員で評価・カンファレンスを繰り返し最終的には所長・主任が介護計画を作成している。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	日常生活の状況や変化の兆しを見逃さず、時系列で詳細に記録できている。生活援助記録は利用者の訴え・行動とスタッフの対応・気づき・感じたことを記入するようになっており、実情に即した介護計画見直しが行なわれている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	デイサービスを開始したことで近所に住む独居老人が気軽に遊びに来たり、入居者がデイサービス車に乗って一緒に迎えに行くなど多機能性を活かした支援を行っている。		

外部 評価	自己 評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	山村地域で医療機関は多くない。入居者の殆どが地域の住民であり入所以前の関係が途絶えることなく継続して支援されている。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	地域医療不備で往診ができない現状を入所時や家族会の度に家族に話し了解を得ている。緊急時は救急車で搬送対応している。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	職員の目立たずさり気ない言葉かけや対応がされており、入居者1人ひとりが尊厳ある姿で穏やかな暮らしができていたのを感じられた。	○	事務所入口は何時も開放されている。個人情報漏洩防止のためには必要時施錠することも検討されるよう望みます。
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	基本的な一日の流れは決めてあるが、自分の好きな時に手芸を楽しんだりおしゃべりしたり晩酌を楽しむ等利用者のペースに合わせて見守りながら一緒に生活している。		

外部 評価	自己 評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	割烹着をつけて食事づくりのリーダー的役割の入居者を中心に全員がそれぞれ配膳や片づけを楽しんでいる。旬のメニューも工夫され、食器は軽い物で工夫されていた。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	午後3時から7時ごろまで好きな時間に入浴を楽しんでもらっている。介助が必要な方は同性介助で対応している。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	食事づくり、掃除、洗濯干し等その人の得意分野を引き出す場面づくりあり、手芸や習字など楽しみながらの作品がホーム内に溢れていた。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	静かな自然環境という立地条件の中 散歩は日常的に行なっている。誕生日には必ず本人が生きたいところへ出かける事ができる場合によっては家族の協力も得て支援している。		
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は鍵をかけない。外出をしそうな様子を見たら、偶然を装い、さり気なく一緒に外に出かけて付き合う。外出しそうなサインを見逃さず見守りや連係プレーで自由な暮らしを支援している。事故防止にヒヤハット報告が活躍している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	防災訓練を年2回、入居者を含めた総合訓練なども実施している。自衛消防隊の編成用意されている。又地域ボランティア組織とも日常的に連携を密にし緊急時の協力体制は出来ている。	○	水害や震災の発生時に備えて、食料や飲料水、Pトイレ、寒さをしのげるような毛布などの準備も検討されることを望みます。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人ひとりの一日の食事摂取量や水分量等はチェック表で大まかに把握できている。特に飲みものには好みがあるため「水分補給メニュー表」を作成し、毎回希望を聞いて提供している。隣接する施設の栄養士に定期的にチェックしてもらうことも検討中。		
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関下駄箱には入居者手作りのカバーが掛けられ、各所に入居者手作りの手芸品や観葉植物があふれ家庭的な雰囲気を高めていた。食堂は広すぎず明るく谷川の水音が心地いい、大きな銀杏の木が和室の障子の明かり窓ごしに見え季節感を盛りあげていた。各居室にトイレがあるため共用のトイレは非常にきれいで尿臭もない。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	各居室にトイレがあり自分の物として当たり前毎日掃除もされている。手芸好きな入居者の部屋は作業場風だが材料は分別してボックス型収納箱を利用、住み心地良い空間づくり工夫されていた。		

※  は、重点項目。